

(参考資料)

JETI ECO シリーズブラシレスモーター用 Li-Po 対応スピードコントローラー取扱説明書(Ver.1.0)

(本記載内容は権利リトルベランカの著作物であるため、許可無く転載不可)

Jeti ECO シリーズは、工場出荷時から Li-Po に対応したコントローラーで、難しいプログラミングなど行う必要がなくジャンパーピンを挿すだけでバッテリーの選択およびブレーキのオン・オフがセットできます。目で見てわかるのではじめての方にも非常に扱いやすく出来上がっています。なおセル数なども自動認識しますので、Li-Po の場合にも安心です。

JETI ECO シリーズの使用方法

- (1) コントローラーから出ている黒、黄色、赤の 3 本のケーブルをモーターに接続します。直接ハンダするよりコネクタを取り付けて接続したほうが回転方向の変更などの際も便利です。モーターとの接続はこれら 3 本をどのように接続してもいいのですが、もし希望する回転方向と違っていただけの場合には 3 本のうちどれか 2 本を入れ替えてください。これで回転方向を変更することができます。
- (2) コントローラーから出ている黒(−)と赤(+)のコードにバッテリーと同じコネクタをハンダ付けします。
- (3) バッテリーの種類、ブレーキのオン・オフの選択をしてコントローラー左サイドにある 4 列のピン(上下にも 2 列になっています)の上下の相対する 2 本のピンに小さな黒いジャンパーピンを差し込みます。なおジャンパーピンは 2 個付属していますが 1 個はスペアです。

NiXX/Br.OFF:

ニッカド・ニッケル水素でかつブレーキオフの設定。全体で 5V あるいは 1 セル当たり 0.7V になるとモーターがスローダウンします。

NiXX/Br.ON:

ニッカド・ニッケル水素でかつブレーキオンの設定。全体で 5V あるいは 1 セル当たり 0.7V になるとモーターがシャットダウンしブレーキがかかります。

LiXX/Br.OFF:

リポ・リチウムイオンでかつブレーキオフの設定。2 セルで 6V、3 セルの場合は 9V でモーターがスローダウンします。

LiXX/Br.ON:

リポ・リチウムイオンでかつブレーキオンの設定。2 セルで 6V、3 セルの場合は 9V でモーターがシャットダウンしブレーキがかかります。

念のためプロペラをはずした状態で設定を開始してください。

- (1) 送信機のスロットル(またはギアチャンネル)がノーマル、そしてトラベルアジャストが 100%/100%になっていることを確認してください。フタバはスロットルをリバースにセットしてください。
- (2) スロットル(またはギアスイッチなど)を最スロー(またはオフ)にします。
- (3) 送信機のスイッチをオンにします。
- (4) コントローラーにバッテリーを接続します。
- (5) コントローラーのスイッチをオンにします。(ECO12 と 18 はスイッチがありませんので、バッテリーを接続すると同時に自動的にオンになります。)

(6) ビープ音が一回します。

(7) スロットルを少しずつ上げていきます。モーターが回り始めるはずですが。(必ずスロットルを上げてください)

(8) これでセットは完了です。

毎回飛ばすときには(2)からはじめます。

(6) でビープ音がしなかったり、ビープ音がした後そのままにしていたために連続警告音などが出た場合にもあわてないでください。コントローラーのスイッチを切り、バッテリーをはずし、送信機のスイッチを切ります。10 秒ほどたってまた(2)のステップからセットを開始してください。急ぐあまりコントローラーのスイッチを送信機より先にオンにしたりするとビープ音がならなかったりしますので、再度落ちて確実に(2)から始めてください。

注意事項

- (1) 事故防止及びバッテリーの消耗を防ぐため、バッテリーは飛行直前に接続し、また飛行後は速やかにバッテリーはずしてください。
- (2) バッテリーをはずす場合やフライト終了後は、まずコントローラーのスイッチを切り、それからバッテリーをはずし、最後に送信機のスイッチを切ってください。この順番を間違えないように十分注意を払ってください。
- (3) BEC の場合、コントローラーのスイッチを切ったからといってバッテリーからの電流を完全に遮断したという事にはなりません。コントローラーの種類や形式あるいは個体差によっても違いますがコントローラーにバッテリーが接続されている限り常に微弱電流が流れています。従いまして必要などき以外はバッテリーをコントローラーからはずしてください。特にリチウムポリマーバッテリーを長期間接続したままにしておくで微弱電流が流れ続け、リチウムポリマーバッテリーが損傷または再起不能となる恐れがありますので飛行後は絶対にはずして置いてください。
- (4) BEC は 5V 供給されますがサーボ数の制限を守ってください。制限を越えたサーボ数を接続した場合、BEC 容量を超えてしまい最悪の場合はサーボへの電流が遮断される場合があります。
- (5) バッテリーのプラス・マイナスを間違いないようにしてください。コントローラーを破損させる場合があります。
- (6) パワーカットオフ機能が搭載されているのでスローダウンしても一旦最スローにして 1 秒後に再度スロットルを上げるとモーターをオンさせることができます。安全に着陸させるための機能です。
- (7) タイミングは自動設定となっています。
- (8) 摂氏 100/110 度になった時点でコントローラーは機能を停止するよう設定されています。冷却には十分な配慮が必要です。